

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年11月11日

上場取引所 JQ

上場会社名 イフジ産業株式会社

コード番号 2924 URL <http://www.ifuji.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤井 徳夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 総務部長

(氏名) 仁田坂 功

TEL 092-938-4561

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	4,342	△14.5	416	—	411	—	220	—
21年3月期第2四半期	5,077	—	2	—	△4	—	△16	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	39.61	—
21年3月期第2四半期	△2.88	—

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	6,721	2,647	39.4	476.41
21年3月期	6,678	2,469	37.0	444.51

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 2,647百万円 21年3月期 2,469百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

## 3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,021	△11.9	638	98.6	620	105.3	342	130.2	61.73

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	5,563,580株	21年3月期	5,563,580株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	7,282株	21年3月期	7,282株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第2四半期	5,556,293株	21年3月期第2四半期	5,556,368株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成21年8月7日に公表いたしました業績予想は、本資料において修正しています。

詳細は、本日(11月11日)開示しております「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

尚、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて算定しております。実際の業績等は、今後、様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、世界的な景気低迷が続くなか、政府の経済対策により一部に底打ちの兆候が見られるものの、未だ続く雇用環境の悪化等により個人消費が低迷し、企業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。

食品業界におきましても、雇用・所得の悪化により、消費者の生活防衛意識・節約志向が強まったことで個人消費が冷え込み、厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社におきましては、消費減退等の影響で販売数量が前年同四半期に比べ5.8%減少しました。売上高につきましては、鶏卵相場（東京M基準値）の平均（4～9月）が前年同期間に比べ15.2%（約30円）低く推移したことから、液卵売上高は3,948百万円（前年同期比14.2%減）となりました。また、加工品売上高は217百万円（前年同期比17.4%減）、その他売上高は176百万円（前年同期比16.4%減）となりました。この結果、合計売上高は、4,342百万円（前年同期比14.5%減）となりました。

損益面につきましては、主原料の仕入体制の見直しを行い原価低減に努め、更には製造体制の見直しなど人員の最適化を図り人件費等のコスト低減を図りました。また、原油価格が昨年と比べ低く推移したことによりガス・重油等の水道光熱費が減少しました。この結果、営業利益が416百万円（前年同四半期2百万円）、経常利益が411百万円（前年同四半期△4百万円）、四半期純利益が220百万円（前年同四半期△16百万円）となりました。

## 2. 財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債及び純資産の情報

## （資産）

当第2四半期会計期間末の総資産は6,721百万円となり、前事業年度末に比べて43百万円増加しました。

流動資産は2,884百万円となり、前事業年度末に比べ146百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金の増加142百万円、受取手形及び売掛金の減少42百万円、原材料及び貯蔵品の増加61百万円によるものであります。

固定資産は3,837百万円となり、前事業年度末に比べ103百万円減少しました。これは減価償却を主として建物が54百万円、機械及び装置が38百万円それぞれ減少したことによるものであります。

## （負債）

当第2四半期会計期間末の負債合計は、4,074百万円となり、前事業年度末に比べて133百万円減少しました。

流動負債は、2,279百万円となり、4百万円増加しました。主な要因は、短期借入金の減少258百万円、未払法人税等の増加156百万円、買掛金の増加19百万円等によるものであります。

固定負債は、1,794百万円となり、138百万円減少しました。主な要因は、長期借入金の減少158百万円、役員退職慰労引当金の増加19百万円によるものであります。

## （純資産）

当第2四半期会計期間末の純資産合計は、2,647百万円となり、前事業年度末に比べて177百万円増加しました。主な要因は、別途積立金の増加50百万円及び四半期純利益の増加や配当金の支払等による繰越利益剰余金の増加125百万円により、利益剰余金が175百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前事業年度末の37.0%から39.4%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における「現金及び現金同等物の四半期末残高」は、前事業年度末に比べ142百万円増加し498百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、603百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益408百万円の計上や減価償却費97百万円、売上債権の減少49百万円等の資金の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により得られた資金は、△0百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用された資金は、△461百万円となりました。これは主に、短期借入金の減少250百万円及び長期借入金の減少167百万円並びに配当金の支払44百万円によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期通期の業績予想につきましては、現在の業績の進捗等を勘案して、業績予想の見直しを行った結果、平成21年8月7日の第1四半期決算短信発表時に公表した平成22年3月期の通期業績予想を修正しております。

詳細は本日(平成21年11月11日)別途公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】  
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	585	443
受取手形及び売掛金	1,143	1,185
商品及び製品	807	861
仕掛品	11	13
原材料及び貯蔵品	263	201
その他	87	48
貸倒引当金	△14	△16
流動資産合計	2,884	2,737
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,181	1,235
機械及び装置(純額)	308	346
土地	1,988	1,988
その他(純額)	27	27
有形固定資産合計	3,505	3,598
無形固定資産	9	10
投資その他の資産		
投資有価証券	40	37
関係会社株式	117	117
繰延税金資産	138	139
その他	53	68
貸倒引当金	△27	△31
投資その他の資産合計	322	331
固定資産合計	3,837	3,940
資産合計	6,721	6,678
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	259	240
短期借入金	1,417	1,676
未払法人税等	220	63
賞与引当金	50	40
役員賞与引当金	27	—
その他	304	254
流動負債合計	2,279	2,275
固定負債		
長期借入金	1,320	1,478
役員退職慰労引当金	449	430
その他	24	24

(単位：百万円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
固定負債合計	1,794	1,933
負債合計	4,074	4,208
純資産の部		
株主資本		
資本金	455	455
資本剰余金	366	366
利益剰余金	1,846	1,670
自己株式	△4	△4
株主資本合計	2,663	2,488
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△16	△18
評価・換算差額等合計	△16	△18
純資産合計	2,647	2,469
負債純資産合計	6,721	6,678

(2) 【四半期損益計算書】  
【第2四半期累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	5,077	4,342
売上原価	4,399	3,246
売上総利益	678	1,095
販売費及び一般管理費	675	679
営業利益	2	416
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
受取賃貸料	6	9
その他	3	4
営業外収益合計	11	14
営業外費用		
支払利息	16	13
貸倒引当金繰入額	—	4
その他	2	2
営業外費用合計	18	20
経常利益又は経常損失(△)	△4	411
特別損失		
固定資産除売却損	0	2
投資有価証券評価損	0	—
特別損失合計	1	2
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△5	408
法人税、住民税及び事業税	11	214
法人税等調整額	△0	△25
法人税等合計	10	188
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△16	220

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△5	408
減価償却費	115	97
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	11	△5
賞与引当金の増減額 (△は減少)	10	10
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	9	27
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	19	19
投資有価証券評価損益 (△は益)	0	—
受取利息及び受取配当金	△1	△0
支払利息	16	13
固定資産除売却損益 (△は益)	0	2
売上債権の増減額 (△は増加)	7	49
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△602	△5
仕入債務の増減額 (△は減少)	91	19
その他	△36	35
小計	△363	672
利息及び配当金の受取額	1	0
利息の支払額	△17	△13
法人税等の支払額	△170	△55
営業活動によるキャッシュ・フロー	△549	603
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△4	△14
定期預金の払戻による収入	4	14
有形固定資産の取得による支出	△23	△2
無形固定資産の取得による支出	△8	—
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
その他	6	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25	△0
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	900	△250
長期借入金の返済による支出	△186	△167
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	—	0
配当金の支払額	△44	△44
財務活動によるキャッシュ・フロー	668	△461
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	93	142
現金及び現金同等物の期首残高	325	355
現金及び現金同等物の四半期末残高	419	498



(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」  
販売の状況

	前年同四半期 (平成21年3月期 第2四半期)		当第2四半期累計期間 (平成22年3月期 第2四半期)		増減率 (%)	(参考) 前期 (平成21年3月期)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)		金額(百万円)	構成比(%)
生液卵	3,930	77.4	3,350	77.2	△14.7	7,823	76.4
凍結卵	673	13.3	597	13.7	△11.2	1,419	13.9
液卵計	4,603	90.7	3,948	90.9	△14.2	9,243	90.3
卵加工品	263	5.2	217	5.0	△17.4	552	5.4
その他	211	4.1	176	4.1	△16.4	443	4.3
合計	5,077	100.0	4,342	100.0	△14.5	10,239	100.0